

令和7年度 真庭市立湯原中学校 総合的な学習の時間全体計画 湯原プロジェクト学習（湯原学講座）

【生徒の実態】
 ○落ち着いて学習に取り組むことができる。
 ○異年齢でコミュニケーションをとれる生徒が多い。
 ○自ら広い視野をもって新しいことに挑もうとする気持ちに弱い面がある。
 ○問題に直面した時に自己解決力に弱い面がある。

【地域の実態】
 ○学校に対して協力的である。
 ○地域で連携がとれている。
 ○ゲストティーチャーとして参加できる。

【学校の教育目標】 新しい時代を生き抜く生徒の育成
 (1) 主体的に考え、判断・行動できる生徒の育成
 (2) 自ら深い学びに向かっていく力をつけた生徒の育成
 (3) 夢や目標の実現に向けて努力する生徒の育成
 (4) 学習の基盤となる資質・能力を身につけた生徒の育成

【保護者の願い】
 ○自主的に学習して、思いやりと規範意識のある人であってほしい。
 ○家庭・地域に愛着をもった人であってほしい。

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、主体的・自律的・創造的に自己の生き方を見つけようとする態度を育てる。
 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
 (2) 地域の人、もの、ことの中から自ら課題を設定し、その解決に向けて必要な情報を収集したり、整理・分析したりして考える力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・創造的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、地域の一員として社会に参画しようとする態度を育てる。

【地域の願い】
 ○地域・社会に有用な人であってほしい。
 ○今後の地域のあり方を考え地域に貢献できる人であってほしい。

【探究課題と、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力】

探究課題		「持続可能な地域（湯原）の実現に向けて」
探究テーマ (例)		<ul style="list-style-type: none"> 湯原の温泉や足湯の紹介パンフレットをつくらう。 湯原の生物をPRしよう。 はんざきばやしを受け継ぐためにできることを考えよう。 障がいのある方とともに楽しめるレクリエーションを考えよう。 高齢者とともに楽しめるレクリエーションを考えよう。 地域福祉について考えよう。 湯原温泉街を活性化させよう。 新しい湯原のお土産を考えよう。
知識及び技能		<ul style="list-style-type: none"> 課題設定を自分で行うことができる。 情報を集めることができる。 集めた情報を整理することができる。 整理した情報を分析することができる。 自分の考えをまとめることができる。 まとめたことをつたえたことができる。 自分の意見を全体に発表することができる。 学習した内容を振り返ることができる。
思考力、判断力、表現力等	課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出すことができる。 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。
	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。 他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択することができる。
	整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> 問題状況における事実や関係を把握し、分類して多様な情報にある特徴を見付けることができる。 事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析することができる。
	まとめ表現	<ul style="list-style-type: none"> 調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。 国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現することができる。
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとすることができる。 振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとすることができる。
学びに向かう力、人間性等	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組むことができる。
	協働性	<ul style="list-style-type: none"> 自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組むことができる。
	自己理解	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分の特徴やよさを理解することができる。
	他者理解	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重することができる。
	社会参画	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加することができる。

【学習活動】
 ○地域の人、もの、ことを生かした探究的な学習活動を行う。
 ・課題設定が自分で行う
 ・情報を集める
 ・集めた情報を整理する
 ・整理した情報を分析する
 ・自分の考えをまとめる
 ・まとめたことを伝える
 ・自分の意見を全体に発表する
 ・学習した内容を振り返る

【指導方法】
 ・体験活動を重視する。
 ・生徒の課題意識を連続的に発展させる支援する。
 ・協働的な探究活動の充実を図る。
 ・言語活動を重視する。
 ・非認知能力の視点を意識して指導・支援を行う。必要に応じて、視点を示すなどのしかけを行い、振り返りをもとに、次の指導へ生かす。
 ・全職員が非認知一覧表を活用し、指導に当たる。
 ・全職員が岡山型 PBL に基づいた指導を行う。
 ・ICT を積極的・効果的に活用する。

【指導体制】
 ・全職員で指導にあたる。
 ・縦割りのグループを組織し、異年齢集団で活動に取り組む。各グループに担当の教員を配置する。
 ・教員は生徒の探究学習を支援する。
 ・地域の人材バンクを樹立し運用させる。(学校運営協議会)
 ・地域の事業所等と密に連絡を取り、連携していく。(地域のひと・もの・ことを有効に活用する。)

【学習評価】
 ・個人内評価を重視する。
 ・レポート等を活用した評価の充実を図る。
 ・発表会(異年齢交流も含む)を利用した評価を工夫する。
 ・地域や関係機関の方々からの評価を取り入れる。